



今回は「いわゆる頭痛もちの頭痛」についてお話ししました。「いわゆる頭痛もちの頭痛」のほとんどは肩凝りと同じように、頭の筋肉が凝っておきます。

今回は、頭の中の何か悪い病気が原因となっている「危険な頭痛」についてお話しします。

キーワードは三つです

「突然」「増悪」「最悪」

あなたの頭痛が、どれか三つに当てはまるか、振り返ってみましょう。

「突然」の頭痛は脳卒中のときにおこることが多いです。脳卒中とは脳の血管の病気です。脳の血管が破れたり、詰まったりする病気です。この「突然」というのは何時何分とわかるような、いきなりおこる頭痛です。特に怖いのがくも膜下出血です。脳の血管に動脈瘤というコブができて、あるときにこれが破裂します。バットでいきなり殴られたような頭痛という人もいます。

くも膜下出血は一回の破裂でそのまま命を落とす方もいらっしゃいます。一度破裂した動脈瘤はまた破裂しやすくなります。また破裂するとそのまま命を失うかもしれません。「突然」の頭痛を経験したら、遠慮なく脳かかりつけ医に相談しましょう。

「増悪」する頭痛とは、段々、段々悪くなる頭痛です。頭の中で何か病気が進行しているサインかもしれません。例えば脳腫瘍などは徐々に大きくなります。脳は頭蓋骨という限られたスペースの中にあります。脳腫瘍のように何か頭蓋骨の中で場所取りをするような病気が現れたら、脳は逃げ道を失って狭い頭蓋骨の中でどんどん圧迫されてしまいます。いつまで経ってもよくなる、段々と「増悪」する頭痛があれば、脳かかりつけ医に相談しましょう。

「最悪」の頭痛とは、今まで経験したことのないタイプの頭痛です。何か新しい病気が頭の中で起きているかもしれません。頭痛といってもいろいろなタイプがあります。重い感じ、ずきずきした痛み、さすような痛み、目の奥が痛い、片方だけが痛い、首から後頭部にかけて裂けるように痛い、等々。いつもだったら薬局で売っている市販の薬でよくなるはずなのにさっぱりよくなる。こんな時は、何か頭の中で新しい病気が起きているかもしれません。こんな時は、脳かかりつけ医に相談しましょう。

では最後に危険な頭痛の三つのキーワードを復習してみましょう。

「突然」「増悪」「最悪」

この三つの頭痛に注意です。  
気になることがあれば相談しましょう。